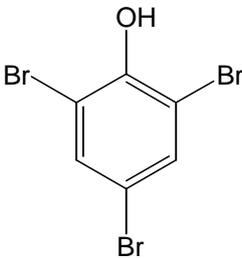


## 化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 53	官報公示 整理番号	3 - 959(化審法) 1 - 221(化学物質管理促進法)	CAS 番号	118 - 79 - 6
名 称	2,4,6-トリブロモフェノール	構 造 式			
分子式	C <sub>6</sub> H <sub>3</sub> Br <sub>3</sub> O	分子 量	330.83		
<p>市場で流通している商品(代表例)<sup>1)</sup></p> <p>純 度 : 99%以上</p> <p>不純物 : 2,3,4-トリブロモフェノール、2,3,5-トリブロモフェノール</p> <p>添加剤または安定剤: 無添加</p>					
<p>物理・化学的性状データ</p> <p>外 観: 針状結晶<sup>2)</sup></p> <p>融 点: 94 ~ 96 °C<sup>2)</sup></p> <p>沸 点: 286 °C<sup>2)</sup></p> <p>引 火 点: 文献なし</p> <p>発 火 点: 文献なし</p> <p>爆発限界: 文献なし</p> <p>比 重: d<sup>20</sup> 2.55<sup>2)</sup></p> <p>蒸気密度: 該当せず</p> <p>蒸 気 圧: 該当せず</p> <p>分配係数: log Pow ; 4.13(実測値)、4.18(計算値)<sup>3)</sup></p> <p>加水分解性: 加水分解を受けやすい化学結合なし</p> <p>解離定数: pKa = 6.0<sup>2)</sup></p> <p>スペクトル: 主要マススペクトルフラグメント m/z 330(基準ピーク, 1.0)、332(0.98)、62(0.61)<sup>4)</sup></p> <p>吸脱着性: 土壌吸着係数 K<sub>oc</sub> ; 4,200<sup>2)</sup></p> <p>粒度分布: 文献なし</p> <p>溶解性: 2,4,6-トリブロモフェノール / 水 ; 70 mg/L (15 °C)<sup>2)</sup> アルコール、クロロホルム、エーテルなどの有機溶媒に可溶<sup>2)</sup></p> <p>換算係数: 該当せず</p>					

## 総合評価

### 1) 危険有害性の要約

本物質のヒトでの急性あるいは慢性暴露時の有害性に関する報告はない。

実験動物では、急性毒性は中等度であり、眼、皮膚、粘膜及び上気道に対して刺激性を有するとされている。変異原性・遺伝毒性については、復帰突然変異原性試験の1報のみであるが、陰性の結果が得られている。反復投与毒性及び発がん性に関する報告はない。生殖・発生毒性に関しては、経口投与で母動物に毒性を生じる用量、また吸入暴露においてはそれ以下の用量で、胎児毒性と出生児の情動性の低下が報告されている。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されやすい。また、嫌気性底質中では脱ハロゲン反応により分解される。環境省のモニタリングでは底質から検出されたことがある。水圏環境生物に対する急性毒性は非常に強く、水圏生態系に対する影響は極めて大きい。

### 2) 指摘事項

- (1) ヒトに関する情報はない。
- (2) 実験動物において、急性毒性で眼、皮膚、粘膜及び上気道に対して刺激性がみられ、生殖・発生毒性で胎児毒性を示すことが報告されている。
- (3) 実験動物において反復投与毒性及び発がん性に関する情報はなく、変異原性・遺伝毒性に関しても報告は少ない。
- (4) 水圏環境生物に対する急性毒性は非常に強い。
- (5) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2001).
- 2) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S. National Library of Medicine(2001).
- 3) KowWin ver 1.66, Syracuse Research Corporation(2001).
- 4) NIST Library of 54K Compounds(1998).